

「卒業の認定に関する方針」(ディプロマ・ポリシー) について

(精密機械工学科)

精密機械工学科においては、以下の資質・能力を身に付け、所定の年限在学し、かつ所定の授業科目及び単位を修得した学生に学士(工学)の学位を授与します。

- 【A】 工学並びに幅広い教養を身に付けている。
「倫理観」
- 【B】 国際活動の基盤として、外国語の能力を身に付けている。
「倫理観」, 「説明する力」
- 【C】 機械工学及び電気・電子工学の基礎としての数学及び物理学を理解し、その応用を身に付けている。
「問題解決能力」
- 【D】 実験及び実習を通じて、課題を解決し、その内容等を理論的な文章にすることや発表することができる。
「問題解決力」, 「論理的・批判的思考力」, 「コミュニケーション力」, 「協働力・リーダーシップ」, 「振り返り力」)
- 【E】 工学の基礎を理解し、現象をモデル化する能力を身に付けている。
「知識・教養」, 「理解」
- 【F】 機械工学の基礎を理解し、機械の設計、加工及び材料に関する知識を身に付けている。
「知識・教養」, 「理解」
- 【G】 コンピュータの基礎知識を身に付けている。
「知識・教養」, 「理解」
- 【H】 機械や電気回路の計測・制御に関する原理を理解している。
「知識・教養」, 「理解」
- 【I】 電気・電子工学の基礎を理解し、現象をモデル化する能力を身に付けている。
「知識・教養」, 「理解」
- 【J】 メカトロニクス分野に関連した幅広い知識、創造力、倫理観を身に付けている。
「知識・教養」, 「理解」